

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 まなび家 若宮

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2			毎日の定員を確認しながら利用人数に応じて部屋の配置をしている	活動内容によって、部屋と共有スペースを活用しています
	②	職員の配置数は適切である	2			定員に対して配置している	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	1	1	室内はフラット、入口から玄関まで段差あり注意必要	既存建物のため、バリアフリー化は難しいですが、必要などころには踏み合を置いたり、スタッフが付いたりして対応しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	1		毎朝のミーティングを行い、目標設定と振り返りを行っている	研修を行ったり毎日の振り返りをスタッフ間で周知徹底して、意識するようにしています
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2			年1回のアンケート調査で出たご意見を参考に改善に努めている	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2			HPIにおいて年1回公開している	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1		月1及び研修や毎朝のミーティングを行い課題を話し合っている	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成している	3			モニタリング時にアセスメントを行い、保護者のニーズを聞き、子どもたちと話し、相談事業所との連携を図り、計画作成を行っている	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2			外部で評価された発達検査などを元に考え立案したり子どもの今の問題点から考えたりする	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	2		1	毎日スタッフ間で話し合いで決めている	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	1		毎日スタッフ間で振り返りと現状を把握し固定化しないように話しあって活動している	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			スタッフ間でのミーティング等で決めている	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成している	2			個別活動・集団活動の時間を区切りながら行っている（学校休業期間中）	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	3			毎朝、打合せをしている	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1		その日に伝えたいことを話し合う時間を設け次の日の朝に必ず振り返りを行い共有している		
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			毎日細かく記録を残し、改善に向けてその都度話し合っている		
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断している	3			半年に一度モニタリングを行い保護者のニーズを把握し、見直している	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			管理者（児発管）が参加している	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4			学校送迎時に話し合いをするようにし学校の様子を伝えてもらっている必要に応じて情報交換の会議を行っている	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1	1	現在、医療的ケアの必要な児童の受け入れをしていない	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1			直接的なやり取りは行っていないが保護者に細かく話を伺っている必要に応じて情報共有を行っている	
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2		1	現在、該当する利用児はいない	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1		1	メールにて連絡を受け研修を受けたりしている	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		1	3		現在交流ができていませんが検討中です
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3			管理者（児発管）が参加している	
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2			webシステムに記載したり送迎時に細かく伝えたりしながら情報共有を行っている。日々の子供の变化で今必要なことをその都度伝えている		
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2		1	事業所内でうまくいった対応が家庭でも実践できそうなことがあった時には保護者に伝えるようにしている		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			契約時や変更があったときはその都度伝えている	
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			送迎時やwebシステムなどを活用しながら日々連絡を取りやすい環境を作っている	
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	1	茶話会などができればいいと検討中	
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3			日々の送迎での保護者の方との会話を大切にいく中で、共に困ったことや相談事などがあった場合はすぐ伝えることができる関係性作りを努めている	苦情があった場合には全職員に伝え対応策を考え保護者に伝えています
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1		2	イベントなどの行事予定は、毎月お知らせしている	
	⑮	個人情報に十分注意している	4			鍵付きキャビネットに保管している	
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2			必要に応じて指示カードの提示や掲示物の配慮をしている。	
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			2	現在交流は行っていない	
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3			避難経路は部屋に貼っている	マニュアルは策定しスタッフには周知していますが保護者にはできていません。今後お知らせしていく予定にしています
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			年2回の避難訓練を行っている	
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1		年1回研修を行っている	
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載している	3				
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3			契約時に保護者に確認し利用前に保護者に再度確認をしている	
㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3			ヒヤリハットが発生時には情報共有し同じことが起こらないように周知をしている		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。